（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスゆうゆう横川			
○保護者評価実施期間	令和8年1月10日	～	令和8年1月31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	32	（回答者数）	30
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日	～	令和8年1月20日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	組織としてベクトルを揃えて対応できる。	日々のミーテイングや支援後の課題や方向性を話し合う時間を確保している。ミーテイングノートで全職員が共有できるように工夫している。	従業員のスキルアップのために外部研修に参加したり、職場研修を充実したりすることで資質向上を目指す。
2	子どもや保護者に寄り添って対応できる。	個別支援計画書や専門的支援計画書にアセスメント会議や支援プログラムで出た課題や成果を記入している。日々の支援に支援目標を位置づけ、自立に向けての取り組みを進めている。 保護者の不安や子育ての悩みについて相談できる場がある。相談されたことを支援に繋げていくことができる。	自分の思いを積極的に発信できない子に対しても、ゆうゆうに来てよかったと思える場所にできるように日々研修を行う。 保護者の思いを傾聴・共感・支援する中で、信頼関係を築き、日々の子どもの支援に繋げ、自立できるように支援する。
3	茶道、ヨガ、陶芸、七宝焼、造形、木工、手芸、ハーブ演奏等、定期的に外部講師をお招きして指導に入っていただいている。子どもとの出会いにより、子どもの【自ら伸びる】の可能性を広げる体験になっている。	子どもたちのそれぞれの個性を生かせるように支援している。	新しい活動の導入についても検討している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個室がない。（クールダウンできる部屋がない）	建物を広げることはできないが工夫して活用している。	パーテーションで仕切って対応する。
2	保護者会等は行っていない。	個別の状況や年齢、課題に違いがあるため、事業所主催で行う機会がなかった。 保護者会を希望されていない方がおられる。	コロナ感染のため、６年間講演会を行なうことができず、保護者同士の交流の機会が減っている。保護者会が開催できるように講師をお招きしての講演会を計画していく。
3			

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービスゆうゆう横川

公表日　令和8　年　3　月　1　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		年齢や支援課題により、曜日や時間を分けている。	学校の終了時刻や保護者の都合で時刻や曜日の対応が難しいこともあるが、チームで判断して対応している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃時間を確保し、子どもたちが心地よく過ごせる環境づくりに努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーテーションで仕切って対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		代表が研修に参加し、事業所内研修をおこなっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修の紹介、参加を促している。事業所内研修を定期的に行っている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		令和６年４月から作成してきた。 見直しを繰り返し行ってきた。 令和７年３月１日にHPで公表した。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		随時、保護者面談を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		事業所内でアセスメント会議や日々のミーティングで情報共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		支援を行う前に個々の支援計画の確認を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		アセスメント会議を行い、児童発達支援管理責任者を中心に策定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		それぞれの活動に応じて担当しているチームで話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個々の支援課題によって目標に応じたプログラムを作っている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ミーティングを確保し、支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		ミーティングを確保し、支援のふり返りを行い課題や改善することを共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子ども会議を行い、自己選択を行い、自己決定できる力を身につけるように支援する。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		主治医や学校との連携は保護者が希望される場合行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校のHPの確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者が希望される場合が行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者が希望される場合が行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	公園や公共の施設を利用した場合に関わりを持つことがある。	保護者が地域の他の子どもと接することを希望されない方がおられる。屋外活動や清掃活動で交流が図られるように計画していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		コロナ感染により講演会を中止してきた。再開できるように計画を進めていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			HPを見ていただけるように保護者に発信する機会をつくっていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		事業所行事に地域住民を招待していないが。清掃ボランテイアとして地域の公園を清掃している。その時に地域の方と交流することがある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			それぞれのマニュアルを掲示しているが、保護者に理解していただけるように丁寧に説明していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				対象者がいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		代表が研修を受けて、それを事業所内で共有できるように研修の場を設定している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービスゆうゆう横川

公表日 令和8年3月1日

利用児童数 32　　回収数 30

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	93%	7%			限られた室内で学習スペースと活動スペースを最大限確保されていると思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	97%			3%	数いる利用者さんの中で、本人も漏れることなく学習や活動を支援していただけていると思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	87%	10%		3%	生活空間は子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				本人に聞くと、心地よいとのことでした。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				個別支援計画で本人の成長できそうなところを明確にして支援してくださっていると思います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	97%	3%			個人的には十分に支援サれていると思います。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	97%	3%			毎回より本人に合わせた支援を考え、プランを作成してくださり、内容の説明と同意もなされています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	97%	3%			そう思います。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	97%	3%			本人が充実した活動内容を楽しそうに話しており、必要な能力の向上を工夫して支援されています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	91%	3%	3%	3%	そう思います。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	50%	17%	13%	20%	個人的に存じていないだけだと思われます。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	97%			3%	ありました。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	94%	3%		3%	なされています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	60%	10%	10%	20%	「親心の記録」など他では知る機会のない情報など、感謝しております。	家族支援プログラムとして「ペアレント・トレーニング」の紹介をしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	97%		3%		親が事業者へ出向いてない中、本人の確認事項や注意すべきことがあった際、すぐ連絡くださる。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	94%	3%	3%		本人についてきになっていることは電話連絡で直接確認頂いている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94%		3%		本人の目線にも、親の目線にもたっておられると思います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	50%	13%	17%	20%	本人より、兄弟の参加があったイベントの話を聞いたことがあります。	保護者会等の開催を希望されていない保護者がおられる。 保護者がお迎えに来られたときにお互いの紹介や活動の内容等の話をしている。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	87%			13%	こちらの相談には即、対応してくださっていると思います。	保護者の相談には即対応している。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	94%	3%		3%	SNSや記述で情報伝達ができるようにされています。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	77%	3%	3%	17%	されています。	PRが足りないので、紹介をしていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	94%	3%		3%	思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	90%	3%		7%	避難訓練や感染症対応などしっかり実施されていると思います。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	97%			3%	されていると思います。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	94%	3%		3%	本人は出血、内出血や怪我をしやすかったり、本人の不注意が多い中、考慮し支援してくださってると思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	91%	3%	3%	3%	鼻出血や本人の不調と思われる訴えがあった際、速やかに連絡があります。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	97%		3%		そう思います。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	97%		3%		そのように思います。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	94%	3%		3%	親としてはそう感じています。	